

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コスモス地域福祉活動センターえと 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年9月16日		2025年10月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		2025年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(環境・体制整備) ・1つの空間を「動」と「静」にわけ、「静」の空間をわけて設定している。 ・「静」の空間では机を向かい、学校の宿題、自宅から持参した課題を集中して取り組める。 ・「動」の空間ではブランコがあり、体を動かすことができる。 ・休憩の空間として大きなソファに横になることができる。 ・フロア内にもカムダウンできる部屋がある。 ・別室の利用もおこなっている。	・聴覚過敏の利用児や他児からの刺激を防ぐために別室がある。 ・わからない事は、「わからない」「どうやってするの」「なぜ？」を子どもから発信し「じゃあ、調べてみよう」「一緒に考えてみよう」という気持ちになれるよう大人も関わりながら支援をしている。 ・同じ部屋の中にカムダウンできる空間を設置。 ・床はフローリング(床暖房)なので、動きが多い場合クッションマットを引き、転倒予防や転倒時の衝撃に配慮している。	
2	(業務改善) ・職員の気づき、感じた事、わからない事、疑問に思った事等、毎日、職員間で意見を出し合い共有している。 ・現場会議等で全員が集まっている中で、立案したプランの確認、実行、振り返りを行い次回に活かしている。 ・日々の職員同士の会話を現場会議で議論し、業務改善につなげている。 ・外部・内部研修は積極的に受けている。受講後研修報告書を提出し、現場会議で報告。研修内容を共有し日々の支援を振り返り照らし合わせ学んできた内容を理解し現場に活かしていけるようにしている。	・4月入職職員2名であるため、職員研修を定期的に行っている。 ・職員の意見等を把握する為、職員会議、送迎会議を定期的実施し意見交流ができる場の設定をおこない、会議前に出てきた意見を共有している。	・シフト等で出勤時間、送迎等で全員が集まり職員の意見等を把握する場を設定するのは難しいが、タイムリーに共有できるように伝えていく。
3	・家族懇談会の開催で、保護者同士で交流を年代別で行い、悩み事が交流できるようにしている。 ・きょうだいも参加できる、運動会やミカン狩り、ハロウィン参観に参加し、本人、家族、きょうだい、職員みんなが楽しめる行事の開催。	・2025年度～公認心理師の配置し、専門的支援が必要な子どもに支援を行えるようにしている。 ・年度当初に年間予定を家族に配布している。 ・家族に参加してほしい行事は、マーカーを引いてわかりやすくしている。 ・きょうだいも楽しみ参加できる行事の内容を工夫している。 ・卒後の進路を意識(移行支援)して作業所出の体験や交流をしている。	・豊かな放課後の時間を過ごすための取り組みを考えていく。 ・放課後の活動を通して、子どもの成長・発達を促し、楽しかったこと、心に残る思い出づくり。 ・保護者へのお知らせは紙ベースからメール配信を検討していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(環境) ・定員+職員が1つの部屋に集まると狭く感じるときもある。 ・年齢幅が大きい。 ・利用児の障害特性やその日の子どもの調子によって、職員が不足していると感じる事もある。 ・トイレ介助等、重なった時男性職員が少ないと感じる。 ・トイレ・手洗いが部屋の中にある。	・年齢幅・障害特性の幅が大きい為、職員体制も整えていることから、全員が揃い回りの準備をしているときに部屋が狭く感じる。 ・子どもの調子によって配慮し活動がスムーズに行えるようにする。	・外出組(散歩・取り組み)や、別室組・室内組等に年齢層・障害特性に分かれ活動はしているが、帰る準備をし、全員(定員+職員)が集まる時、職員の立ち位置や動きを確認し声を掛け合い職員の動きが重ならないように工夫していく。
2	(適切な支援の提供) ・役割分担までは、難しい。 ・職員全体ではおこなえていないと思う ・帰り送迎があり終了後に全員で振り返るのは難しい	・活動していると、急な動きに対応しなければいけない時に分担していても、体制が崩れる。 ・シフト勤務・送迎等で職員メンバーが集まり打合せ・振り返りをする事が難しい。	・役割の分担をしていても急な対応が入った場合、職員の体制が崩れてしまった時の立て直しを、どの職員でも指示ができるように職員の向上。 ・業務日誌・共有事項に記入し、送迎から帰ってきた職員や翌日勤務に入る前に見れるようにしているが、再度職員の口頭からも伝えていく。 ・職員は、出勤したら業務日誌を必ず見るようにする。
3	(関係機関や保護者との連携) ・4月からの勤務なので、4つの基本活動がわからない。(重要事項説明書の中にサービスの内容で記載している) ・4月からの勤務なので、説明を受けているがマニュアルが多く、これがこのマニュアルとまだ繋がらない。	・4月から勤務職員には、説明をしているがマニュアルが多すぎてどれがどれかわからない。	・BCP及び各種マニュアルの更新及び整理をしていく。 ・火災・震災等避難訓練の時に、マニュアルを使い訓練しながら、保護者にも内容を知らせていく。 ・避難場所の確認をする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 コスモス地域福祉活動センターえと 放課後等デイサービス

公表日 2025年10月25日

利用児童数 2025年10月27日 20人

回収数 16人

	チェック項目	はい				どちらともいえない				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	0	0						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	2	0						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	1	0						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	4	1	0						
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	1	0	配慮が足りない			ご意見を踏まえ、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援ができるようにしていきます		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	1	0						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	1	0						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2	0	0						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	1	0						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	1	0						
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	1	0						
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	2	0	0						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	0	0						
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	0	1	0						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	1	0						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	0						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	1	0						
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	1	0						
	20 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	1	0						
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	0	プリントが多いので電子化やSNS活用が進むとうれしいです			メールなど配信ができるように検討していきます		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0							
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	0						
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4	1	0						
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	1	0						
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	0	0						

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	コスモス地域福祉活動センターえると 放課後等デイサービス		公表日 2025年10月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2	宿題や製作できる場所は固定している。 ゆっくりできるソファがある。 別室やカムダウンできる空間がある。	定員+職員が1つの部屋に集まると狭く感じるときもある。 年齢幅が大きい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2		子どもの特性によって職員が不足していると感じる事もある。 男性職員が増えたらうれしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		床はフローリングなので、動きが多い場合クッションマットを引き、転倒予防や転倒時の衝撃に配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		毎日、そうじ、消毒をしている。 活動の前後のアルコール消毒をおこなっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		フロア内にもクールダウンできる部屋がある別室の利用もおこなっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		現場会議でおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者から意見等をいただいた場合は、日誌等に記入したり、グループラインで知らせ、業務改善につなげ、保護者にも報告している 回答不明1名	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	職員会議、送迎会議を定期的実施。 会議を待たず職員間で意見を出し合い共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		今年度、外部による第三者による評価を受ける。 回答不明2名	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	会議等で職員と計画を確認し疑問や意見があれば、その場で認識し共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		回答不明2名	詳細な部分がわからない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			

へ 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	情報の共有・支援内容の確認	役割分担までは、難しい。 職員全体ではおこなえていないと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	その日に気づいた事、気になる点等、共有している。	帰り送迎があり終了後に振り返るのは難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		回答不名2名	4月からの勤務なので、4つの基本活動がわからない。（重要事項説明書の中にサービスの内容で記載している）
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		言葉で伝えられる子には意思を確認している。 難しい子にはカードや現物を見せ選択してもらっている。 回答不明1名	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		学校の情報を知るために、学校のHPや家族に確認をしている。それでもわからない時、緊急を要する時には学校に確認している。 トラブル時には、適切に対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		回答不明1名	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		回答不明2名	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		回答不明1名	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	回答不明1名	今年4月からなのでわからない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	協議会へのお誘いを受けてはいるが、日程・時間が合わず参加できていない。そのため、さかい放課後連絡会、区域会合同会議で報告をしてもらっている。 回答不明1名	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		情報共有はしている。 回答不明1名	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		回答不明1名	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		子どもに、やってみたい事を聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		大運動会・ミカン狩り・家族きょうだいに参加できる機会を設けている。 家族懇談会・参観日	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			急な対応の場合、わからない時もある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	正職員間では、わかっている。 回答不明1名	4月からの勤務なので、わからない。 自信がない マニュアルが多すぎてわからない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1		4月からの勤務なので、わからない。 自信がない マニュアルが多すぎてわからない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		てんかん発作の時の様子の動画を家族から提供してもらい、職員で共有している。発作を起こした時のマニュアルも作成し、送迎の際も対応できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		指示書に基づいて提供している。 また、複数の職員で確認し管理栄養士にも確認してもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		モニタリング・家族懇談会の時に伝えている。	4月当初のお便り等で知らせていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11				